

3/7(日) 10:30~

事前予約制 / 下記メールより

参加費 ¥1,500 (材料費込み)

使い慣れたハサミ、カッターがあれば
お持ちください。必要な人はメガネも忘れずに。
カッターが使えれば年齢は問いません。



下中菜穂
しもなかなほ

江戸時代の切り紙「紋切りあそび」を通して「かたち」に込められた祖先の暮らしや文化、自然観などを紹介。国内外で切り紙の文化をワールドワーク。文様を暮らしの中で使い、楽しむ生活文化を現代によみがえらせるべく活動中。著書に「こども文様ずかん(平凡社)など。映像の百科事典「エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ」の活用チームとして、アーカイブ映像の実験的な上映会やワークショップを展開。どちらの活動でも、観て、聞いて、感じて、やってみる。手や身体を通して「過去からの贈り物」を受け取り、手渡して行くことがモットー。

造形作家、もんきり研究者、出版業

もんきり研究者 下中菜穂さんによる 文様探検ワークショップ

建物に、くらしに、あらゆるものの上に生きていく文様。

そんな文様を昆虫採集のように集め、紙の上で切り出し、切り紙にして眺めてみましょう。今回の会場「とりなご久兵衛(旧片岡家住宅)」は、

京都銀行の前身の一つ治久銀行を創設した呉服商、片岡久兵衛の店舗兼住宅。明治、大正、昭和の各時代に建てられた大きなお屋敷です。さあ、どんな文様が隠れているでしょう。



東京都庭園美術館(旧朝香宮邸)の優雅な
アール・デコ文様が建物から取り出された切り紙。

ガジェットボックス シリーズかたち『たてもの文様帖』
日本のアール・デコ建築 東京都庭園美術館の巻より

そここかしこに 文様展

2年前に柳町にて開催した

「くらしの中のことばとかたち展」第2弾。

古い住まいの中、毎日手にする道具、庭の景色、天からの雪、

かたちを掬い上げ「文様」や「紋」として

今に伝える先人達の目線。

まさにそこかしこで発見できる文様を

ぜひご覧ください。

2月1日より3月31日まで

広小路ミ・アーゲにて
(とりなご久兵衛内)

11時~20時

参加申込/問い合わせ

newhikamiya@gmail.com



鳥名子 久兵衛

期間中無休 20:00
営業時間 11:00~22:00

〒620-0022
京都府福知山市下柳町12番地
電話 0773-23-1366
<https://www.torinago.com>

イベント時の感染症対策について

- ・マスクの着用、会場での検温ほかご予約時にお伝えする感染症対策へご協力ください。
- ・感染状況によりイベント開催を中止する場合があります。

主催：広小路商店街振興組合 協力：エクスプランテ 企画：ヒカミヤ